

中國
旅游

中国

世界遺產

敦煌莫高窟





敦煌莫高窟 世界文化遺産

敦煌市は、甘肅省河西廊下、祁連山の北麓にある。面積3.12万km²、人口18万人。境内の西部、北部は殆どゴビ砂漠で、オアシスは東南隅にあり、総面積の4.5%を占めている。党河は境内にある唯一の川で、疏勒河に属す内陸河で、祁連山の氷河から源を発し、全長390mで、敦煌オアシスの命脈である。典型的な乾燥気候に属する。周りはゴビ砂漠に囲まれるが、土地が平かで気候が温暖で、水源が充足し、豊かな砂漠のオアシス都市で、上質の果物と綿花の出産地である。

敦煌は文化芸術の宝庫莫高窟の所在地で、シルクロードにある重鎮であり、古代西部辺境の軍事要塞でもある。1986年に国務院に歴史文化名城に指定された。漢の武帝元鼎六年(紀元前111年)に敦煌郡を設けてから、今からすでに2000年以上の歴史を持つ。敦煌は、東西側交通の要衝にあり、古代中原王朝が西域、ギリシア、ローマへの進出、西部民族の東進に行く必ず通



敦煌のシンボルの千仏洞

さなければならぬ所だった。華夏文化はここから西方に、西側文明もここから中原へに伝わり、東西側文化交流の中核であった。唐代(618～907)の敦煌は最も最盛期を迎え、中国、インド、中アジア、西アジア、エジプト、ギリシアなどの異文化を吸収し、カラフルな文化景観を呈し、ユーラシア大陸人類文明の異彩を放っていた。燦爛たる歴史文化、独特な砂漠風光は、敦煌観光に絶えぬ発展をもたらした。敦煌は、シルクロードにある世界に注目させる観光勝地となった。

莫高窟

俗に千仏洞と呼ばれ、敦煌から東南25km離れた鳴沙山の東麓の懸崖にあり、南北の長さは1600m。洞窟は366年に切り開き始め、今は彩色絵画のある洞窟が491カ所、うち唐代の洞窟は223カ所、歴代の壁画が4.5万m²、彩色彫塑が2400体、唐・宋(618～1279)時期の木構造の建築が5カ所、蓮花柱石と地面に敷かれた模様付きレンガが数千点、それに蔵経洞が保存されている。建築、絵画、彫塑、敦煌散逸書物からなる総合的芸術殿堂である。莫高窟芸術は、10数の朝代、千年以上を経て、本土漢・晋芸術の伝統を踏襲しながら、南北朝と唐宋芸術の風格を吸収し、さらに域外芸術の風格を絶えずに受け取り、溶合して全方位、多次元の芸術絵巻に形成し、世界では、規模が最も大きく、最も完璧に保存された仏教芸術の宝庫である。それで、『世界文化遺産リスト』にランクされた。

蔵経洞

つまり莫高窟第17窟で、第16窟の通路北壁に唐代に開かれた。1900年6月22日、莫高窟の下寺の道士王圓篆が積沙を清掃

したところ、偶然に蔵経洞を発見した。洞窟から、4世紀から11世紀にかけて10朝代の仏教経典、社会文書、刺繍、絹絵画、法器などの5万点余りの文物を出土し、世界を驚かせた偉大な発見となり、「中古時代の百科全書」、「古代学術の海洋」と称えられた。しかしながら、イギリス、フランス、日本、ロシアなどの探検家は、相続いた駆けつけ、王道士の手から夥しい文物を安い値段で買って帰った。わずか本の少しは国内で保存している。蔵経洞を発見してから、敦煌文献、芸術、文物を研究する内外の学者がますます多くなり、次第に国際で名高い敦煌学に形成した。

九層楼

莫高窟の第96窟で、俗に大仏殿と呼ばれる。石窟群の中間にあり、形が独特な洞窟の陽射がある。高さ43mで、9層を重ねた軒がある。うちの7層は山に寄りかかって築かれたが、上の2層は山を突き出して建てられた。木造で暗赤色に塗られた9層軒は、雄大で美しい輪郭が描き、莫高窟の最大な建物として、莫高窟の象徴となった。洞窟内に、弥勒の坐像が彫塑されており、石造で彩色絵画が施された泥彫塑で、高さ34.5m、幅12.5で、中国では第五番目に大きい仏像で、世界では現存する室内泥彫塑の第一大仏を誇る。仏像は唐代につくり始めたが、後代に幾度再建を繰り返しても、依然として従来の風貌を保たれている。

臥仏大窟

第158窟で、唐代中期の代表的な洞窟である。巨大な棺の形をしており、東西の奥深さが7.28m、高さ約7m。西壁にかかる高さ1.3mの仏壇には、シャカムニの臥像が彫塑されている。莫高窟にある最大の仏像だ。シャカムニの顔は豊満で潤い、両目は半閉じており、唇は微笑むような形をし、造型が端正で、眠れる姿が安らかである。莫高窟では、最も完璧に保存されている、最も高い芸術性を持つ臥仏像である。

美人洞窟

第57窟。東壁に観音菩薩の画像がある。数多くの唐代菩薩塑像の中、これは最も素晴らしいもので、「美人像」、洞窟も「美



砂漠のオアシス月牙泉

人洞窟」と呼ばれる。姿が淑やかな菩薩は、皮膚がつるつると潤い、綺麗な顔に長い眉、赤い唇、まっすぐな鼻がある。華やかな美しさが特徴。

舞楽洞窟

第220洞窟の舞楽図。唐代貞観十六年(642)に描かれた。2人の踊手は、小さい円形の絨毯で踊り、両側に対称に楽隊が並べる。楽手たちは、順序に方形の絨毯に座り、各種の楽器を演奏している。楽器の伴奏につれて、冠を被り、高く髻を束ねた踊り手は、上着衣に袴を穿き、顔を向って踊っている。頭巾を挙げて足を踏んで踊る姿が瀟洒で、雅やかで優美だ。

「反り弾き琵琶」舞楽

第112洞窟の南壁にある。踊り手は、左手が琵琶を高く体の後に挙げて、右手は後で弾いている。体が前に傾けて、右足は高く挙げ、左足が直立し、速いリズムに合わせて琵琶を弾きながら踊る。つまり有名は「反り弾き琵琶」の踊りだ。作者は、極めて的確にこのユニークな造型を捕まえて、そして素晴らしい技法で描き出した。特に面白いのは、着地する左足が親指を上げて、楽曲に合わせて叩いているところまで細かく描写したことだ。

遊戯菩薩

第205窟仏壇の南側にある。彫塑はひどく損害されたが、豊満で健康な菩薩の面影が覗える。逞しい体に生き生きと生命の活力を満ち溢れており、起伏する肉体が弾性と質感を見せている。作者が丹精を込めて、高い技法で菩薩を彫りあげた。いずれの角度から見れば、すばらしい感じを取れる。

唐代彫塑の逸品

第45窟の西壁仏龕にある1体の仏像、2体の弟子、2体の菩薩、2体の天王塑像を含む1組の彩色彫塑。完璧に保存された唐代彫塑の逸品である。真ん中のシャカムニ像は、顔が豊満で潤い、表情が厳肅で慈悲深く穏やかだ。弟子、菩薩、天王の個性が鮮明に表され、彫塑技法が緻密で、同類作品のトップ。特に、2体の脇に仕える菩薩像は、微笑んでおり、表情が落ち着いて



第217洞窟にある西方浄土変壁画

慈しい。全身が「S」状をした菩薩は、女性のにやけた愛らしい様を十分に表した。

北周捕撈図

第296窟の頂にある。仏経は、自らの善行で自らのために善の根を下せば、将来は福が報われると言う。そして、こう言うことを福田耕作と呼ばれる。福田耕作の道は多く、例えば、仏塔修造、果樹植樹、井戸掘り、疾病治療、橋、道路の舗装、落水者の救助などが挙げられる。この図は、落水者を救助する場面を描いた。舟に乗る数人は体を突き出し、手を水面に伸び、落水者が舟を捕まえて攀じ上がるころだ。画面の構図は簡潔で描線が明快で、図案化された船、水、景物は色濃い装飾性と叙事性を持つ。

初唐帝王聴法図

第220窟の東壁にある。文殊菩薩と維摩詰との弁論を聞きにきた帝王と大臣たちを描いた。頭に冕を被る帝王は両腕を平に開き、青い上着に赤い袴を穿き、大きい帯を肩に飾り、意気揚々としている。帝王の傍にいる大臣は、年令によって、表情、外形もまちまちだが、いずれも謹んで堂々たる帝王を囲む。作者は素晴らしい技法で、生き生きと真に迫るように様々な人物を描き出し、得難い人物画の逸品である。

第45窟にある彩色彫塑

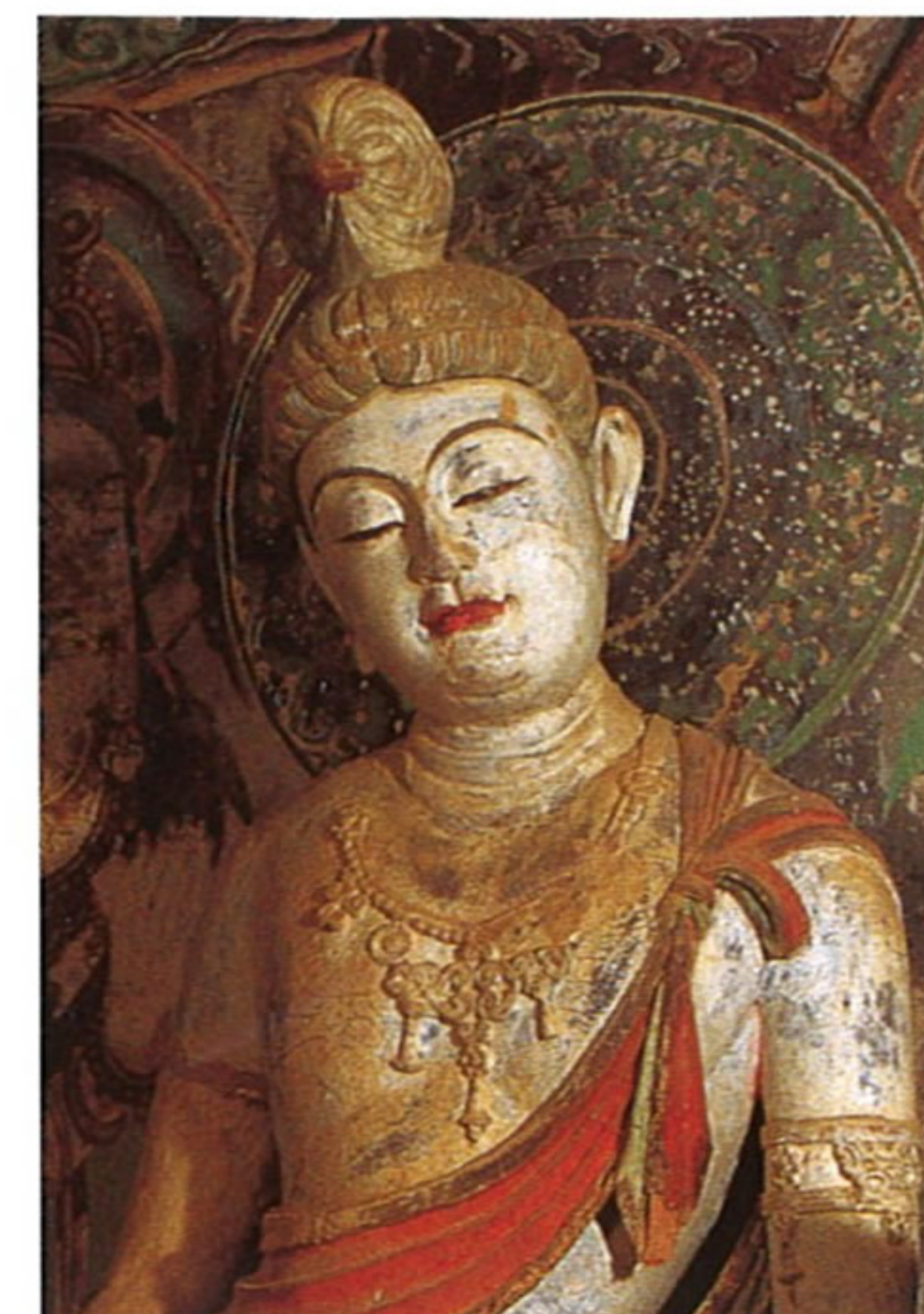


初唐女性供養人

第329窟の東壁にある。普通の供養人像と違って、立像ではなく、跪像だ。絨毯に跪いた女性供養人は、頭に髻を束ね、顔が端正かつ豊満で、体型が丸くて精巧だ。体に円い襟と細い袖の上着を着、スカートを穿く。肩に羅巾を被り、手に蓮の花を持ち、前方を凝視する彼女は、神聖で蔽かな佇まい。その服飾は、当時の社会に流行っていた「時世装」というファッションだった。作者は簡潔な描線で、女性供養人の敬虔な心と安らかで静かな風貌生き生きとを現した。

盛唐観無量寿経変

第172窟の北壁にある。同類作品の中の逸品である。建築仕組み、人物の配置などの絵画技法はより円熟し、特に透視関係の描き方は創意がある。主体大殿の透視は仰角を採り、より高大さを見せる。両側の脇殿は俯視角度で描かれ、奥深さと広さを強調する。平視角度で描かれる後ろの樓閣は、奥深さと排列を見せている。この透視技法の組み合わせは、科学的なものではないが、見る人の視点を中軸線やや上の位置に集中させるため、焦点透視に近い効果を収めた。雄大な建物の上に、諸仏が雲に乗って往来し、各種の楽器は奏でるように響き、特に4つの小さい飛天は、体が繊細で踊る姿が淑やかで特別な趣きがある。



第45窟にある菩薩の塑像



第419窟にある迦叶塑像



第419窟にある彩色塑像



第259窟にある禅定仏像

晚唐報恩経変、親近品(局部)

第85窟の南壁にある。山の奥に一匹の威武な雄の獅子がいる。獅子の皮毛は美しい金色で、人々に金毛獅子と呼ばれた。金毛獅子は仏門に親しみ、よく和尚の読経を聞くために通ってきた。1人の貪婪な獵師は金毛獅子に貪って、その皮毛で利禄と交換しようとした。しかし、彼は勇猛な獅子に近付くことができなかった。それで、彼は和尚に扮して、獅子を引き寄せ、そして獅子の不備に乗じ、毒矢で無残に獅子を殺した。その皮毛を剥いて国王に献上した。詳細を知った国

王は、獵師を殺し、獅子の皮毛を茶毘に付し、塔を建てて供養した。

元代千手千眼観音

第3窟の北壁にある。千手千眼観音は六観音の1つ。画の中の観音は11の顔、40本の腕を持ち、周りに2人の飛天などは観音を囲む。この洞窟は、敦煌では現存する唯一の観音を主題にする洞窟だ。画は墨線で輪郭を書き、そしてあっさりとした色彩を塗り、人物の体型が豊満で均整を取れており、造型が緻密かつ的確で、綺麗で雅やかだ。輪状に並べる千手は規則正しく密接に排列している。筆遣いは自由自在で、簡潔な線で人体の皮膚を表した。さらに各種の技法を活かして服飾を描いている。潤う肌は清潔で生気に満ち溢れており、服の錦、綿、シルク、リンネルの質感も真に迫るように工夫した。

北魏菩薩

第248窟中心柱の西南側にある。北魏時期(386～534)の彩色彫塑菩薩は、痩せた顔つき、体にぴったりした服に特徴がある。「曹衣出水」と呼ばれる。つまり、服を着たまま水から出ることの形容だ。服の襞を表す陰刻線は緻密かつ流暢で、簡単かつ明快な色が塗られ、菩薩の表情は端正で雅やかだ。首のところに破損があったが、依然として最も完璧に保存された北魏時期菩薩の代表作である。

隋代彩色彫塑

第419窟にある。隋代の彩色彫塑の逸品である。主な跏趺座仏は、体が豊満で潤い。彫塑技法は洗練し、ややデフォルメされた形を持つ。袈裟の襞を表す簡潔な階段式模様は、人々に重厚な質感を与える。両側の弟子と菩薩はそれぞれ特徴があり、この時期の傑出した彫塑作品である。仏龕両側に纏枝蓮花柱があり、その上に彩色の龍首、梁に纏わる龍の体、護法の神霊とされる凶猛な龍の頭を彫塑している。



騎馬を楽しむ観光者



雅丹魔鬼城



敦煌芸術品

鳴沙山と月牙泉

鳴沙山は敦煌市の西南から5km離れたところにある。東西の長さは40km、南北の幅は20kmで、最高峰は海拔1715m。山は細かい砂をカーブな形に積み重ねたもので、峰が刀刃のように尖っている。遠くから眺めると、飛び出した金色の龍のようで、近くで見れば光るシルクのように美しい。沙は、赤、黄、白、黒、緑の5色があり、人々は沙坂に沿って下ると、沙の響き声が絶えない。月牙泉は沙山に囲まれており、3日月の形をしている。緑の細波を打つ泉水は底まで澄み切っている。数少ない鉄背魚と七星草を出産している。千百年以来、山と泉は共生しており、砂漠の奇観となった。

敦煌市博物館

敦煌市陽関東路にあり、歴史文物を主とする地元の総合的博物館。陶器、石器、写経、漢代書簡、絹織物、銅鉄器、貨幣、宝石、書画などを含む4000点の珍しい文物を所蔵している。うち、著名な藏経洞から出土した「敦煌散逸書物」、世界に希に見るチベット文の写経、漢代長城から出土した漢代書簡及び珍しい古代地理、気象、軍事写本などは、博物館の珍宝で、内外の観光者が敦煌の歴史、文化を理解する窓口である。この他、敦煌民俗博物館、敦煌映画城はお勧めの観光スポット。

フェスティバル

敦煌の祭日は「敦煌の夏」文芸ショーの他、「四月八廟会(縁日)」、鳴沙山沙滑り祭などもある。

四月八廟会

時間：農曆の4月8日

民間の伝統的な祭。地元の人々は老若男女揃って、莫高窟、三危山、雷音寺に集まり、線香を焚いて仏様を拝み、祖先を祭る。

鳴沙山沙滑り祭

時間：6月1日

数百人は一斉に山の頂から滑り降り、山全体は轟くように響き出す。5km離れる市内にも響き渡れる。

地方料理

敦煌の人々は1年中一日三食には、ラーメンは欠かせない。羊肉、鶏肉などを好み、味わいはあっさりとしている。主食：ラーメン、手打ち麺、餡かけ麺、饅頭、餃子、肉まんパン、ワンタン、餅、焼きパン
伝統料理：シルクロード駱駝掌、油揚げ駱駝コブ、駱駝コブの五目炒めなど

特産品

敦煌土産：敦煌李広杏、鳴山大棗、敦煌メロン、陽関葡萄など。工芸美術品には、敦煌絨毯と水晶石眼鏡が最も名高い。

敦煌絨毯：上質の羊毛を材料にし、緻密で伝統的な手作業工芸で加工された。材料が上質で、工芸が精緻な絨毯は、柔らかくで光沢がある。絨毯は殆ど敦煌壁画のカラフルな色と図案、時にはアラビア風の図案も採り入れる。そして、サイズも多く、長持ちの上値段が安い特徴もある。

娯楽

「敦煌の夏」文芸ショー

シルクロード文化色濃いショー。敦煌莫高窟の中の壁画をモチーフにし、敦煌の音楽・舞踏を主題にし、昔シルクロード

レストラン

店名	住所	電話番号(937)
菜根香大酒店	敦煌市西大橋	8820708
富利達美食城	敦煌市鳴山路16号	8822607
西域餐厅	敦煌市鳴山路29号	8823776
星月清真餐館	敦煌市沙州南路2号	8821110
現代大酒店	敦煌市鳴山路16号	8823016

ショッピング場所

店名	住所	電話番号(937)
敦煌市夜光杯廠	敦煌市陽関東路11号	8822593
敦煌市絨毯工場	敦煌市党河北路24号	8833465
敦煌書画院	敦煌市鳴山路36号	8829434
民俗博物館	敦煌月牙泉風景区	8882051
莫高窟工芸美術公司	敦煌市莫高窟景区	8869067



敦煌壁画をモチーフにした踊り

上の各民族の踊り、服飾と音楽を再現する。

交通

航空：敦煌市の東から13km離れる敦煌空港から、蘭州、西安、北京、嘉峪関、ウルムチへのフライト便は飛んでいる。毎週38便就航。

市内交通：市内にマイクロバスが決められた線路を走っている。タクシーも拾える。観光者の便を提供するため、人力車も運営。市区の鳴山路には、自転車レン



工芸品の駱駝



タル店が4つ設けてある。車やバスをレンタルする場合、地元の旅行社やホテルにご連絡下さい。

主な娯楽場所

名称	住所	電話番号(937)
敦煌之夏	敦煌市陽関東路14号敦煌賓館内	8859269
敦煌市映画館	敦煌市陽関中路6号	8822180
工人文化宮	敦煌市七里鎮新区工人文化宮	8920902

主な観光ホテル

名称	レベル	住所	電話番号(937)
敦煌賓館	★★★★★	敦煌市陽関東路14路	8822195
敦煌太陽大酒店	★★★★★	敦煌市沙州北路5号	8822019
敦煌沙州大酒店	★★★★★	敦煌市陽関中路31号	8825031
甘肅敦煌絲路賓館	★★★★	敦煌市環城東路6号	8823807
敦煌山莊	★★★★	敦煌市敦月公路	8882088
敦煌大酒店	★★★★	敦煌市陽関中路16号	8825588
敦煌四方賓館	★★★★	敦煌市七里鎮大慶路口	8856023
敦煌麗園賓館	★★★★	敦煌市環城東路8号	8822025
敦煌市金叶賓館	★★★★	敦煌市鳴山路37号	8821470
敦煌大厦	★★★★	敦煌市沙州南路15号	8825008

主な旅行社

社名	住所	電話番号(937)
敦煌中国国際旅行社	敦煌市鳴山路32号	8822492
敦煌太陽エネルギー国際旅行社	敦煌市沙州北路5号	8821464
敦煌沙州国際旅行社	敦煌市陽関中路28号	8821098
敦煌飛天国際旅行社	敦煌市鳴山路22号	8822009
敦煌中油国際旅行社	敦煌市七里鎮崑崙路	8942368
敦煌大禹旅行社	敦煌市鳴山路37号	8837213
敦煌金絲路旅行社	敦煌市鳴山路29号	8832971
敦煌和平旅行社	敦煌市鳴山路38号	8837930
敦煌市甘肅陽関旅行社	敦煌市三危路37号	8942368

全国統一の特種サービス電話

中国国際電話頭番号:0086	警察通報先:110	交通事故通報先:122
市内電話番号案内:114	国内長距離電話予約:113	国際電話予約:115
火事通報先:119	救急センター:120	天気予報:12121

中国国家観光局(東京)

東京都港区虎ノ門2-5-2 エアチャイナビル8F
郵便番号：105-0001
電話：03-3591-8686
ファックス：03-3591-6886

中国国家観光局大阪事務所

大阪市浪速区湊町1-4-10CATビル4F
郵便番号：556-0017
電話：06-6635-3280
ファックス：06-6635-3281

中華人民共和国国家観光局

アドレス：北京市建國門内大街甲9号
電話：0086-10-65201114
ファックス：0086-10-65122096
ホームページ：http://www.cnta.gov.cn

中國
旅游

敦煌莫高窟



ご覧いただきありがとうございます！

